ＦＸチャート解説⑧
～主なオシレーター系指標を紹介～

講　師
株式会社インベストラスト代表取締役
国際テクニカルアナリスト連盟
国際検定テクニカルアナリスト
福　永　博　之

Rakuten 楽天証券

目　次

- オシレーター系とは（おさらい）
  - 考え方と使い方について

- 主なオシレーター系指標の特徴について
  - モメンタム
  - ＲＳＩ
  - ストキャスティクス（ノーマル、スロー）
  - ＭＡＣＤ
  - ＤＭＩ

オシレーター系とは？

- オシレーターとは
  - 上下に振れる振り子のこと
    - 2種類＝上限と下限が設定されているもの① 、上限と下限がないもの②

- 考え方①例：0～100、－100～100
  - 上限に達したら買われ過ぎ、下限に達したら売られ過ぎ

- 考え方②例：0や100などを中心にして上限、下限がない
  - 上昇が続いたり、下落が続いたりするため反転するか、また反転の水準が重要

モメンタムの特徴について

- 上昇や下落の勢いを教えてくれる
- 上限、下限がない
- 0ラインよりも上は上昇の勢いが強い
- 0ラインよりも下は下落の勢いが強い
- 価格がある一定のレンジ内で動いている時に有効に機能する
- トレンドが把握できない

ＲＳＩの特徴について

- 買われ過ぎや売られ過ぎを教えてくれる
- 上限が100、下限が0
- 100に近づけば買われ過ぎ（目安は70%以上）
- 0に近づけば売られ過ぎ（目安は30%以下）
- 価格がある一定のレンジ内で動いている時に有効に機能する
- トレンドが把握できない

ストキャスティクスの特徴について

- 買われ過ぎや売られ過ぎを教えてくれる
- 上限が100、下限が0
- 100に近づけば買われ過ぎ（目安80%以上）
- 0に近づけば売られ過ぎ（目安20%以下）
- 価格がある一定のレンジ内で動いている時に有効に機能する
- トレンドが把握できない

ＭＡＣＤの特徴について

- 売買タイミングとトレンドを教えてくれる
- 上限、下限がない
- 2本線で表示される（ＭＡＣＤ、シグナル）
- 2本線のクロスで売買タイミングを判断
- 0ラインよりも上は上昇トレンド
- 0ラインよりも下は下降トレンド

ＤＭＩの特徴について

- 上限が100、下限が0
- 2または3本線で表示される（＋DI、－DI、ADX）
  - ＋DIは上向きの方向、－DIは下向きの方向を示す
- トレンドの発生と売買タイミングを教えてくれる
- DIが30%を上回るとトレンド発生と判断する
  - ＋DIの場合＝上昇トレンド
  - －DIの場合＝下降トレンド

ＦＸチャート解説⑨
～モメンタムについて～

講　師
株式会社インベストラスト代表取締役
国際テクニカルアナリスト連盟
国際検定テクニカルアナリスト
福　永　博　之

Rakuten 楽天証券

目　次

- モメンタムとは？
- モメンタムの特徴（おさらい）
- 実際のモメンタムをチャートでチェック
- 使い方と売買判断について
- まとめ

モメンタムとは？

- 勢いのこと
  - 上昇の勢いと下落の勢いがある

- 何から作られているか
  - 当日とｎ日前の価格を差し引いた差分から作られている
  - 計算式＝当日の値－ｎ日前の値
    - 例1：当日の値＝120円、10日前の値＝118円、例2：当日の値120円、10日前の値＝121円
    - 例1結果＝120円－118円＝2円、例2結果＝120円－121円＝－1円
    - 例1と例2を比較すると、2円上昇している方が上昇の勢いがあると判断できる

モメンタムの特徴について

- 上昇や下落の勢いを押してくれる
- 上限、下限がない
- 0ラインよりも上は上昇の勢いが強い
- 0ラインよりも下は下落の勢いが強い
- 価格がある一定のレンジ内で動いている時に有効に機能する
- トレンドが把握できない

実際のモメンタムをチャートでチェック

使い方と売買判断について

まとめ

- トレンドの補完として使用する
- 使い方は逆張りまたはトレンドフォローの2つ
  - 逆張り
    - 0ラインよりも下で反転＝（買い戻しまたは、新規買い）
    - 0ラインよりも上で反転＝（利益確定売りまたは、新規売り）
  - トレンドフォロー
    - 0ラインを上回って上昇＝上昇の勢いが強い（ロング）
    - 0ラインを下回って下降＝下落の勢いが強い（ショート）
- 水準に注目する
  - 過去のピークやボトムに接近した場合は反転に注意
- 逆行現象の発生に注目する
  - 反転に要注意（買い戻しや新規の買い、利益確定や新規売り）

ＦＸチャート解説⑩
～ＲＳＩについて～

講　師
株式会社インベストラスト代表取締役
国際テクニカルアナリスト連盟
国際検定テクニカルアナリスト
福　永　博　之

Rakuten 楽天証券

目　次

- ＲＳＩとは？
- ＲＳＩの特徴（おさらい）
- 実際のＲＳＩをチャートでチェック
- 使い方と売買判断について
- まとめ

ＲＳＩとは？

- Relative Strength Index（相対力指数）の略
- J. Welles .Wilder.Jrが考案したテクニカル指標
- 上昇した値幅の割合から、買われ過ぎや売られ過ぎを判断
  - 計算式＝ｎ日間の上昇値幅÷（ｎ日間の上昇値幅＋ｎ日間の下落値幅）×100
    - 例１：上昇値幅4円、動いた値幅5円、例2：上昇値幅1円、動いた値幅5円
    - 例１結果：（4÷5）×100＝80%、例2結果：（1÷5）×100＝20%
    - 例1と例2を比較すると、例１は買われ過ぎ、例2は売られ過ぎと判断できる
- 期間は14日が使われることが多い

ＲＳＩの特徴について

- 買われ過ぎや売られ過ぎを教えてくれる
- 上限が100、下限が0
- 100に近づけば買われ過ぎ（目安は70%以上）
- 0に近づけば売られ過ぎ（目安は30%以下）
- 価格がある一定のレンジ内で動いている時に有効に機能する
- トレンドが把握できない

実際のＲＳＩをチャートでチェック

使い方と売買判断について

まとめ

- トレンド系と合わせて使用する
- 戦略は逆張りとトレンドフォローの２つ
  - 逆張り
    - 70%ラインを上回って反転＝買われ過ぎ（ショート）
    - 30%ラインを下回って反転＝売られ過ぎ（ロング）
  - トレンドフォロー
    - 50%ラインを上回ったら買い
    - 50%ラインを下回ったら売り
- 逆行現象の発生に注目する
  - 反転に要注意（買い戻しや新規の買い、利益確定売りや新規売り）

ＦＸチャート解説⑪
～ストキャスティクス（ノーマル、スロー）～

講　師
株式会社インベストラスト代表取締役
国際テクニカルアナリスト連盟
国際検定テクニカルアナリスト
福　永　博　之

Rakuten 楽天証券

目　次

- ストキャスティクスとは？
- ストキャスティクスの特徴（おさらい）
- 実際のストキャスティクスをチャートでチェック
- 使い方と売買判断について
- まとめ

ストキャスティクスとは？

- 米国のジョージ・レーンが考案したテクニカル指標で、価格の終値の位置が、定められた日数の価格レンジのなかで、相対的にどのレベルにあるかを判断する指標
- 2本線で表示される（％K、％D）
- 水準とクロスで売買を判断する
- 期間は9日と3日が使われることが多い
- ストキャスティクスとスローストキャスティクスがある

ストキャスティクスの特徴について

- 買われ過ぎや売られ過ぎを教えてくれる
- 上限が100、下限が0
- 100に近づけば買われ過ぎ（目安80%以上）
- 0に近づけば売られ過ぎ（目安20%以下）
- 価格がある一定のレンジ内で動いている時に有効に機能する
- トレンドが把握できない

実際のストキャスティクスをチャートでチェック

実際のストキャスティクスをチャートでチェック

使い方と売買判断について

まとめ

- トレンド系と合わせて使用する（両方とも）
- 戦略は逆張りとトレンドフォローの２つ
  - スローストキャスティクスの方が動きが滑らか
  - 逆張り
    - 80%ラインを上回って反転してクロス＝買われ過ぎ（ショート）
    - 20%ラインを下回って反転してクロス＝売られ過ぎ（ロング）
  - トレンドフォロー
    - 50%ラインを上回ったら買い
    - 50%ラインを下回ったら売り
- 逆行現象の発生に注目する
  - 反転に要注意（買い戻しや新規の買い、利益確定売りや新規売り）

ＦＸチャート解説⑫
～ＭＡＣＤについて～

講　師
株式会社インベストラスト代表取締役
国際テクニカルアナリスト連盟
国際検定テクニカルアナリスト
福　永　博　之

Rakuten 楽天証券

目　次

- ＭＡＣＤとは？
- ＭＡＣＤの特徴（おさらい）
- 実際のＭＡＣＤをチャートでチェック
- 使い方と売買判断について
- まとめ

ＭＡＣＤとは？

- ジェラルド・アペルによって開発されたテクニカル指標
- Moving Average Convergence and Divergenceの頭文字の略
- 2本の平滑移動平均を使って、売買判断を行うチャート
- 平滑移動平均線とは、単純移動平均線と違い、直近の値の比重を大きくしたもの
- 直近の比重を大きくするとことによって、今の動きをより反映しやすくなる利点がある
- 期間は12日－26日、9日を使うことが多い

ＭＡＣＤの特徴について

- 売買タイミングとトレンドを教えてくれる
- 上限、下限がない
- 2本線で表示される（ＭＡＣＤ、シグナル）
- 2本線のクロスで売買タイミングを判断
- 0ラインよりも上は上昇トレンド
- 0ラインよりも下は下降トレンド

実際のＭＡＣＤをチャートでチェック

使い方と売買判断について

まとめ

- 0ラインよりも上か下で、トレンドを判断
  - ＭＡＣＤがシグナルを下から上に抜いたら、買いシグナル
  - ＭＡＣＤがシグナルを上から下に抜いたら、売りシグナル
- 逆張りとトレンドフォロー
  - 逆張り
    - 0ラインより下でMACDがシグナルを上回る（新規買い、買い戻し）
    - 0ラインより上でMACDがシグナルを下回る（利益確定売り、新規売り）
  - トレンドフォロー
    - 0ラインを2本線が上回る（新規買い）、0ラインを2本線が下回る（新規売り）
- 逆行現象の発生に注目する
  - 反転に要注意（買い戻しや新規の買い、利益確定売りや新規売り）

ＦＸチャート解説⑬
～ＤＭＩについて～

講　師
株式会社インベストラスト代表取締役
国際テクニカルアナリスト連盟
国際検定テクニカルアナリスト
福　永　博　之

Rakuten 楽天証券

目　次

- ＤＭＩとは？
- ＤＭＩの特徴（おさらい）
- 実際のＤＭＩをチャートでチェック
- 使い方と売買判断について
- まとめ

ＤＭＩとは？

- Directional Movement Index （方向性指数）の略
- J. Welles. Wilder. Jrが考案したテクニカル指標
- トレンドの有無と強弱を探ろうとするもの
- 期間は14日が使われることが多い

ＤＭＩの特徴について

- 上限が100、下限が0
- 2または3本線で表示される（＋DI、－DI、ADX）
  - ＋DIは上向きの方向、－DIは下向きの方向を示す、ADXはDIの勢いを示す
- トレンドの発生と売買タイミングを教えてくれる
- 30%を上回るとトレンドの発生を示す
  - ＋DIの場合＝上昇トレンド
  - －DIの場合＝下降トレンド

実際のＤＭＩをチャートでチェック

使い方と売買判断について

まとめ

- どちらDIが上にあるか
- どちらのDIが30%を上回っているか
  - ＋DIが上で30%を上回る＝上昇トレンド
  - －DIが上で30%を上回る＝下降トレンド
- どちらも30%に届かないとき
  - トレンドレス状態（もみ合い、狭いレンジ）
- ＋DIと－DIのクロス
  - ＋DIが－DIを上回る（買い）
  - －DIが＋DIを上回る（売り）

外国為替証拠金取引（FX）のリスクと費用等について

外国為替証拠金取引(FX)の取引にかかるリスク

外国為替証拠金取引（FX）は、取引通貨の価格変動や、スワップポイントの支払いにより、損失が生じるおそれがあります。また、外国為替証拠金取引（FX）は少額の証拠金で、その差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。また、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

外国為替証拠金取引（FX）の取引にかかる費用等

外国為替証拠金取引（FX）の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各通貨の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。スプレッドは通貨ペアごとに異なります。

証拠金について

〔楽天FX口座〕レバレッジコースに応じて取引金額の4%～100%(最大レバレッジ25倍)の証拠金が必要となります。

(法人のお客様の場合は、取引金額に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

〔楽天MT4口座〕想定元本の4%以上の証拠金が必要となります。(法人のお客様の場合は、想定元本に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

*当社は、金融先物取引業協会が算出した「為替リスク想定比率」以上となる証拠金率を通貨ペアごとに定めております。「為替リスク想定比率」とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを使い算出されるものです。

スプレッドについて【（例外あり）について】

通常時は広告表示のスプレッドでお取引いただいておりますが、為替市場における取引高の低下又は売買が一方向に集中しているなどの状況においてはスプレッドが広がる場合があります。また、広告表示の値は実際の取引時のスプレッドを保証するものではなく、お客様の約定結果による実質的なスプレッドが広告表示の値と合致しない場合がありますのでご注意ください。

なお、スプレッドの拡大は、以下のような状況において発生する場合があります。

■平日早朝時（概ね6時30分～7時30分※サマータイム期間中は一時間繰り上がります）■国内外の金融市場休場日（海外のクリスマス休暇や年末年始など）■主要経済指標の発表前後

■震災などの天変地異や政変又は金融・経済関連の重大な出来事などの突発事象の発生時

■ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありませんのでご了解ください。

お客様よりご提示いただきました情報以外で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なることがございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではございません。尚、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいます様お願い申し上げます。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会